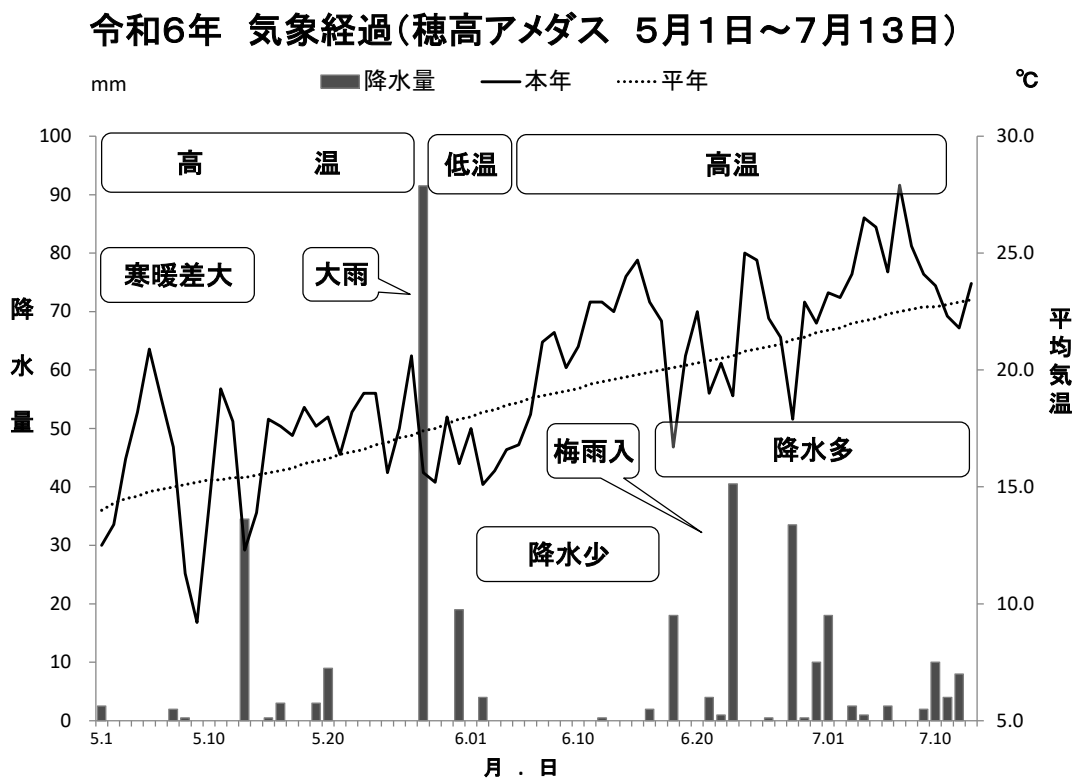


令和6年 作物技術普及情報 第13号

(水稲の生育状況、生育予測、刈り取り開始予測他について)

1 気象状況



5月末から6月上旬にかけて低温の時期がありましたが、それ以降は高温で推移しています。

梅雨入りはかなり遅れ、6月21日頃に平年より14日遅く梅雨入りしましたが。梅雨入り後は雨の日や降水量も多い状況になっています。

2 水稻の生育状況（7月13日現在）について

- 定点圃場の「あきたこまち」の幼穂形成期は7月2日で、平年より4日早でした。また止葉の抽出が始まっています。「コシヒカリ」の幼穂形成期は7月11日で、平年より5日早でした。

7月11日気象庁発表の1か月予報でも平均気温は高い確率70%で、期間の始めは気温がかなり高くなると見込まれています。

このため、今後の気温が平年より2℃高温になるとして推定した結果、生育進度は「あきたこまち」で平年より4～6日早く、「コシヒカリ」で平年より5～7日早く、出穂期は昨年並みにかなり早まると予測されました

以上から、高温に対応した「松本地域における発育指数（DVI）による水稻生育予測（2℃高温版）」を作成しましたので、追肥作業等の作業準備にご活用ください。

安曇野市 豊科 標高550m 5月15日植(稚苗)の場合							
コシヒカリ				あきたこまち			
稚苗	幼穂長 2mm の実測日	幼穂長 10mm の予測日	出穂期 の予測日	稚苗	幼穂長 2mm の実測日	幼穂長 10mm の予測日	出穂期 の予測日
7月14日以降 平年並気温の場合	7月11日	7月18日	8月3日	7月14日以降 平年並気温の場合	7月2日	7月9日	7月25日
7月14日以降 2℃高温の場合	7月11日	7月18日	8月1日	7月14日以降 2℃高温の場合	7月2日	7月9日	7月22日
平 年	7月16日	7月23日	8月8日	平 年	7月6日	7月13日	7月28日
平年差	5日早(今後の気温が平年より2℃高い場合は5～7日早)			平年差	3～4日早(今後の気温が平年より2℃高い場合は4～6日早)		
注) 幼穂長2mm = 幼穂形成期				注) 幼穂長2mm = 幼穂形成期			

標高別、田植え時期別の生育状況については、別添の「松本地域における発育指数（DVI）による水稻生育予測（2℃高温版）」をご覧ください（松本農業農村支援センターのホームページに掲載します）。

3 水稻の刈り取り開始予測

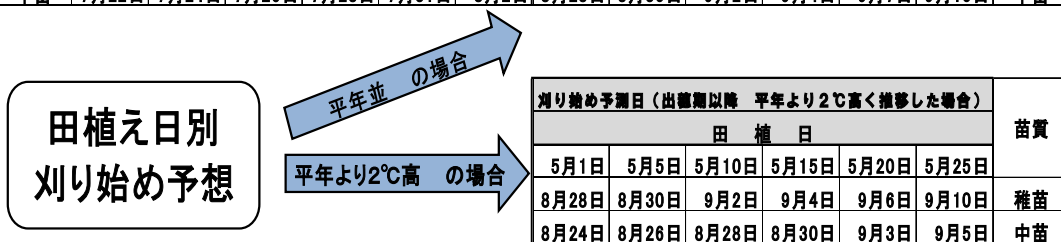
今後も高温が続き、出穂がかなり早まることが予想されるため、7月13日現在の水稻生育予測（2℃高温版）を用いて、刈り取り開始時期を予測したところ、平坦地・4月末～5月初旬植のコシヒカリの刈り取り開始時期は、9月初旬からが予想されました。また早生品種の刈り取り開始時期は8月下旬からが予想されました。

このため「7月13日現在の水稻刈り始め予測（平年並み版、高温版）」を作成しましたので、施設稼働の計画や収穫計画にご活用ください。

標高別・移植日別の詳細は「7月13日現在の水稻刈り始め予測（平年並み版、高温版）」をご覧ください（松本農業農村支援センターのホームページに掲載いたします）

【表は豊科定点圃場：標高540mの推定値（7月13日現在）です】
推定出穂期は7月13日現在の水稻生育予測（2℃高温版）です

コシヒカリ 標高550 m	苗質	推定出穂期						刈り始め予測日（出穂期以降 平年並みの気温）						苗質
		田 植 日						田 植 日						
		5月1日	5月5日	5月10日	5月15日	5月20日	5月25日	5月1日	5月5日	5月10日	5月15日	5月20日	5月25日	
稚苗	7月26日	7月28日	7月30日	8月1日	8月3日	8月6日	9月2日	9月4日	9月6日	9月9日	9月11日	9月15日	稚苗	
中苗	7月22日	7月24日	7月26日	7月28日	7月31日	8月2日	8月28日	8月30日	9月2日	9月4日	9月7日	9月10日	中苗	



4 高温障害対策（7月後半のポイント）について

7月後半のポイントは「黄化させすぎない適期・適量穂肥」です。穂揃期に葉色がさめすぎると、胴割米や白未熟米（特に基部未熟）の発生の原因にもなります。

「松本地域における発育指数（DVI）による水稻生育予測」をご活用いただき、追肥時期を失しない様に適期・適量の穂肥をお願いします

基肥一発肥料を使っている場合、出穂前に極端に葉色が落ちている場合（葉色板で2.5以下）は、出穂10日～5日前頃（幼穂長10～15cm位）に窒素成分で1kg程度の晩期追肥による高温障害対策をご検討ください。

5 葉いもち病、カメムシ対策（畦畔除草）について

7月13日現在の葉いもち病感染好適条件の判定結果では、6月17～18日、7月1～3日、7月12日頃に好適条件がありました。条件が揃えば7日後程度で病斑が確認できると思われます。

直播圃場はいもち病が発生しやすいので、防除対策を必ず講じてください。また常発地帯・多発したことのある圃場、苗箱剤の未使用圃場等では圃場をよく観察していただき、発生状況によっては防除対策を講じてください。

水田畦畔や水田周辺の雑草防除はカメムシ対策に有効です。カメムシの本田への追い込みを防ぐためにも、出穂2週間前までに（出穂が早まっているので遅くとも7月22日頃までに）畦畔除草をすませるようにお願いします。

6 大豆の雑草対策について

本年は降雨により播種作業が遅れている影響で、耕起が不十分な状態で播種されている圃場があります。このため麦収穫時に発生していた雑草の土中への埋設が不十分なため、播種後土壌処理除草剤を処理したにもかかわらず、雑草が目立つ圃場があります。

このため播種後土壌処理剤の処理後2週間位で圃場を観察し、除草剤の効果の確認をしていただき、残草状況によっては、茎葉処理剤の処理をご検討ください。

雑草の種類によっては茎葉処理剤の効果が劣る場合もあります。また雑草が大きくなりすぎると、茎葉処理剤の効果が十分に発揮されない場合がありますので、草種の判断や処理時期を失しないようにお願いします。